

えっ!

間口の広い補助金制度

カタログから
選べるの?中小企業
省力化補助金で
システムを導入し、
人手不足を
解消しました。

ユニークな「カタログ注文型」もある

中小企業 省力化 投資 補助金

どちらを選ぶ?

中小企業省力化投資補助金には、「カタログ注文型」と「一般型」の2種類があります。省力化に興味はあっても、「何から始めればいいのかわからない」「難しそう」と感じる事業者の方は少なくありません。まずは使いやすい制度を活用し、設備やシステムを導入することで、省力化を体感されてはいかがでしょうか。

カタログ注文型は、事業計画を難しく考えることもなく、省力化の第一歩を踏み出せる点が魅力です。まずはできるところから始めてみる。そんな進め方は、多くの事業者の方に受け入れられやすいと思います。

一方一般型は、事業者ご自身が必要と考える省力化の設備やシステムを、自由に導入できる制度です。カタログ注文型は手軽な反面、どうしても型にはまった導入になりやすくなります。より自由に改善を進めたい方には、一般型の方が適しているかもしれません。



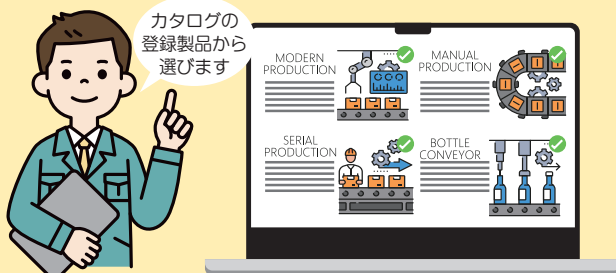
まず導入のしやすさを重視するのか、自由度の高い改善を目指すのか。最終的には、それぞれの事業者の皆さんのご判断になるのだと思います。

2つの型がある省力化補助金

カタログ注文型

メリット 導入までの時間短縮、手続き負担軽減

紹介HPに掲載されたカタログから、製品等を選び申請する補助金で、各申請における補助金額の合計が、補助上限に達するまでは、複数回の応募が可能です。



最大1500万円を補助

随時公募受付中

対象 特定の対象設備

選定 汎用製品をカタログから選択

特徴 販売事業者が申請をサポート

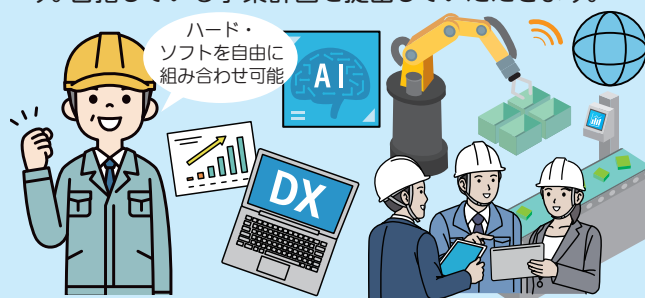
中小企業省力化投資補助金(カタログ注文型)詳しくはこちらから ➡



一般型

メリット 自社に最適な設備やシステムの構築

事業者が考える省力化事業(設備やシステムなどの導入等)に対し、一億円を最高額として補助する制度です。目指している事業計画を提出していただきます。



最大1億円を補助

公募回制

対象 省力化効果が認められる設備・システム

選定 自社の課題に合わせ自由に設計・選定

特徴 オーダーメイド性のある多様な設備やシステムを導入可能

中小企業省力化投資補助金(一般型)詳しくはこちらから ➡





お話を伺いました！

今回、省力化補助金の窓口を受託されている沖縄県中小企業団体中央会を事前に訪問して、沖縄の中小企業の課題や、省力化補助金の使われ方などを伺いました。



Q.1 沖縄の中小企業が抱えている課題を教えてください。

A.1 人手不足が中小企業の喫緊の課題ではないでしょうか。

Q.2 その課題解決のために、省力化補助金はどのように役立つとお考えでしょうか。

A.2 省力化補助金は中小企業が抱えている人手不足を解決するための、ロボットの導入を含む、自動化などを促進するきっかけとなり、課題解決に大きく役立つと考えています。

Q.3 実際にこの補助金により改善された例があればお聞かせください。

A.3 個別事例の詳細を述べることはできませんが、最新の機械、解析ソフトを導入することで、今まで数日かかっていた作業を、1日で処理できるようになっただけでなく、付加価値の高い分析が可能になったと報告された例があります。

Q.4 相談窓口を訪問するにあたり、準備するものなどはありますか。

A.4 お越しになる方全員が、ご自身の課題や補助金について熟知されている訳ではありません。なかには、ざっくりとしたお考えでお越しになる方や、何ができるのか知らずにいらっしゃる方もおいでになります。必ずしも何かしら準備しなければならないということはありません。

Q.5 窓口では、どのようなことをしていただけるのでしょうか。

A.5 補助金制度をわかりやすくご説明しながら、課題や実現したいことを伺い、それぞれの状況やお考えに合った活用方法について一緒に確認していきます。なお、申請書類そのものを代理で申請することはできません。

Q.6 2つある省力化補助金の手続きの違いを教えてください。

A.6 一般型は、応募申請を行い、採択後に改めて交付申請をし、交付決定後に発注する流れとなります。一方のカタログ注文型は、比較的申請がしやすい上、採択までの時間も短く、さらに上限金額に達するまで複数回申請できます。

Q.7 「とまりん」1階にある相談窓口の利用方法について教えてください。

A.7 相談窓口は、省力化補助金HPからご予約いただけます。土日祝日を除く平日は10時から16時まで、窓口推進員が対応しています。また、電話による相談にも対応していますので、公募要領を読んだだけでは分からないことなどあればお電話ください。補助金をサポートされているコンサルタントの方とご一緒に来所される事業者の方もいらっしゃいます。また、団体等へ出前セミナーも実施しており、講師の無料派遣にも対応しています。これまでに、商工会や支援機関への講師派遣実績があり、オンライン説明会も可能です。

日々、事業主の方々と接していらっしゃる中央会の窓口推進員の方々から伺うお話は、とても新鮮で臨場感と説得力がありました。もしも経営上の悩みごとをお持ちの事業主の方がいらっしゃれば、ぜひその悩みや課題の相談に、那覇市の「とまりん」1階にある沖縄県省力化補助金事務局を訪ねてみてください。

沖縄県省力化補助金事務局窓口推進員の方々



沖縄県省力化補助金事務局
(沖縄県中小企業団体中央会)

那覇市前島3-25-1 とまりん1階101号室

電話 098-894-2338

中小企業省力化投資補助金

<https://shoryokuka.smrj.go.jp>



お問い合わせ先 経済産業部 地域経済課 ☎098-866-1730